

「福井ふるさと元気宣言」推進に関する政策合意

私は、知事の政策スタッフとして、「福井ふるさと元気宣言」に掲げられた政策等を実現するため、次に掲げる施策・事業について重点的に実施することを西川一誠知事と合意します。

平成29年4月

福井県知事 西川 一誠

観光営業部長 江端 誠一郎

29年度の施策

1 高速交通時代にブランド・観光オンリーワン戦略

◇「幸福日本一・福井」の新ブランド戦略【部局連携】

○「福井の知名度・好感度」全国上位へ

- ・県民や市町と共動し、県外事務所とともに、幸福度日本一「FUKU I H A P P I N E S S」や恐竜王国、福井ならではの自然、歴史・文化、食などの魅力を戦略的に営業し、福井ブランドのメディア露出の拡大を図ります。
- ・ドラマや映画の誘致に向け、本県ゆかりの題材やエピソードを制作関係者に提供するとともに、本県での撮影に対する支援制度も活用しながら、随時、放送局や制作会社へ働きかける積極的な営業を行います。

交流拡大施策

○福井が舞台の「大河ドラマ」

- ・幕末明治や戦国に活躍した本県の先人たちが主人公となり、福井を舞台とした大河ドラマの実現に向け、大河ドラマ誘致推進協議会を中心に、NHKへ強力に働きかけます。
- ・歴史番組や雑誌、小説、歴史漫画、ドラマ等で取り上げてもらえるよう、NHKをはじめ民放、出版社等に対する営業活動を強化し、幕末明治や戦国時代における本県の先人の知名度向上を図ります。

○福井のアニバーサリー

- ・幕末明治150年となる平成30年に「幕末明治福井150年博（仮称）」を開催するため、市町や関係団体、企業からなる実行委員会を設置し、実施基本計画を決定するとともに、県内外への広報・PRやメイン会場での展示等の準備を進めます。
- ・150年博を開催するに当たり、地域の核となる歴史資源の魅力を体感できるよう、史跡や歴史資料等が持つ意義や時代背景など様々な観点から磨き上げ、魅せる化することにより誘客拡大を図ります。

◇「恐竜渓谷100万人構想」の実現【部局連携】

○楽しみ学べる恐竜博物館

- ・大型肉食恐竜「アロサウルス」の実物全身骨格を組立作業から公開し常設展示するなど、「本物の魅力」による展示のスケールアップを図ります。

目標名	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
恐竜博物館入館者数	93万1千人/年	90万1千人/年	95万人/年	100万人/年

- ・第2恐竜博物館（仮称）について、昨年度策定した基本構想をベースに、整備・運営手法や立地場所を具体化するとともに、施設の配置・規模や誘客対策、波及効果の拡大策等についても検討を深め、民間の参画意欲を把握します。**交流拡大施策**
- ・ゴールデンウィークやお盆など繁忙期における恐竜博物館周辺の渋滞を緩和するため、パーク&バスライドを継続して実施します。また、クレジットカードが利用できる券売機を導入し、入館者の利便性の向上を図ります。

○恐竜学研究の世界拠点へ

- ・第4次恐竜化石発掘調査において、新たな標本の更なる発見に努めるとともに、採取した化石のクリーニング作業を進めます。また、国内外の共同発掘調査・研究を継続して進めるとともに、「アジア恐竜協会」の国際シンポジウムにおいても中心的な役割を担い、アジアにおける恐竜研究の拠点としての地位を確立します。

○ジュラチックによる恐竜ビジネスの拡大

- ・企業等に対する営業活動の強化や新たな企業とのコラボにより、公式恐竜ブランドキャラクター「ジュラチック」を活用した商品の開発・販売を拡大します。
- ・アニメ専門テレビ局等とタイアップし、「ジュラチック」を主人公としたアニメ番組を制作、放映し、「恐竜王国福井」の認知度アップを図ります。

◇観光フロンティア・福井【部局連携】

○100万人観光地の創出

- ・永平寺門前や今庄宿、小浜西組周辺の県内3地区で継続して実施している「観光まちなみ魅力アップ事業」を着実に推進し、核となる観光地を整備します。
- ・北陸新幹線敦賀開業、中部縦貫自動車道全線開通に向けて県内を訪れる観光客の滞在時間と観光消費額を増やすため、6つの事業エリアごとに複数の市町、観光団体や民間事業者が連携し実施する、ソフト事業を支援します。

目標名	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
100万人観光地数 (累計)(暦年)	4か所/年	3か所/年	5か所/年	5か所/年

○観光客1300万人の実現

- ・北陸新幹線金沢開業による誘客効果を持続させるため、民間事業者ともコラボし、引き続き上野駅など首都圏や新幹線沿線において、集中プロモーションや魅力発信の事業を効果的に実施します。
- ・北陸への誘客拡大を進めるため、北陸三県とJRが共同し、四季毎にテーマを定めた通年での誘客キャンペーンを実施します。
- ・小松空港を活用した誘客拡大を図るため、機内誌で県内観光地を紹介するほか、石川県と連携した首都圏からの旅行商品の造成を促進するなど、航空会社等と連携した誘客プロモーションを実施します。
- ・泰澄ゆかりの地を専門ガイドと巡るバスツアーの実施、県立歴史博物館における特別展の開催、石川県、岐阜県と協働したガイドブックの作成や情報発信など、泰澄大師白山開山1300年に合わせた記念事業を行います。**交流拡大施策**
- ・永平寺大野道路の全線開通記念キャンペーンを展開し、奥越・永平寺エリアなどへの誘客拡大を図ります。**交流拡大施策**
- ・若狭さとうみハイウェイや京都縦貫自動車道を活用して誘客拡大を図るため、京都府、滋賀県等と連携し、日本遺産など共通の素材を活かした観光ルートの開発や高速道路定額乗り放題プランなどを実施し、広域周遊観光を推進するほか、嶺南6市町とともに展開する「海湖と歴史の若狭路」キャンペーンを実施します。**交流拡大施策**
- ・福井県観光連盟を中心に、観光事業者や団体・行政等が一体となって、福井県の特色ある地域資源を活用した新たな旅行商品の開発などを進めます。

目標名	27年度 (実績)	28年度 (見込み)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
観光客入込数 (暦年)	1,270万人/年	1,270万人/年	1,300万人/年	1,350万人/年
観光消費額 (暦年)	937億円/年	937億円/年	1,000億円/年	1,100億円/年

○奥越を自然環境の体験学習エリアに

- ・通年楽しめる人工ゲレンデの整備やミルク工房奥越前の機能向上を図るとともに、六呂師高原全体の誘客拡大に向けて、地元が主体となって賑わいを創出し、民間と共動して、「通年型・滞在型の体験学習・スポーツエリア」の実現を目指します。

○海外誘客の強化

- ・アジアや欧米等からの誘客を促進するため、海外の旅行会社等のほか、外国人客が訪れている近隣県の観光施設等に対して、本県の“ZEN”ブランドを売り込みます。
- ・外国人観光客向けに「福井ならではの」の体験・交流プログラムについて拡充を図るとともに、インターネットを活用した旬の観光情報発信を促進します。
- ・本県も参画する広域連携DMOにおいて、「昇龍道」や「美の伝説」など広域観光周遊ルートについて、近隣府県と連携し、エリア内への誘客拡大を図ります。**交流拡大施策**
- ・台湾等からの教育旅行の誘致拡大を図るため、現地説明会に参加するほか、県内への教育旅行関係者視察を促進します。
- ・外国人受入環境の整備のため、消費税免税店開設を促進するとともに、大手航空会社等と連携し、観光事業者等を対象にした外国人接客のための研修会を開催します。

目標名	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
外国人宿泊者数 (暦年)	56,000人/年	54,000人/年 (速報値)	70,000人/年	85,000人/年
消費税免税店数 (累計) ※10月1日現在	29店	55店	70店	85店

○観光人材の育成

- ・ 福井県観光アカデミーを引き続き開講し、本県観光におけるイノベーションを創出するため、現場感覚と理念の両方を持って、観光産業やまちづくりをマネジメントできる人材を育成します。
- ・ 福井県認定観光ガイド養成講習会を開設し、多彩な観光コースの提案が行える人材を育成し、道の駅や観光案内所などでの活動を促進します。
- ・ 平成30年の福井国体に向け、観光おもてなしに関するセミナーの開催やハンドブックの作成・配布などにより、全県的なおもてなし力の向上につなげます。

2 国体の成功と「スポーツ福井」の実現、文化・芸術を身近に

◇福井の文化をもっと身近に

○子どもの文化・芸術活動

- ・ 小学5年生全員が県立音楽堂で本格的なプロオーケストラの演奏を体験する「ふれあい文化子どもスクール」を開催するほか、福井ゆかりのプロの演奏家を中学校等へ派遣する「出張音楽堂」を開催し、本物の芸術文化に触れる機会を提供します。
- ・ 学校鑑賞会として県立文化施設の企画展に児童生徒を招くほか、美術、書道、管弦楽、演劇等の分野において、中高生が一流の芸術家から直接指導を受ける機会を提供します。

目標名	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
一流の芸術・文化を 体験する子どもの数	77,143 人/年	78,175 人/年	79,000 人/年	80,000 人/年

○文化施設の活性化

- ・研究者など外部協力者からの情報を収集しながら、県外に所蔵されている福井ゆかりの美術品等の蒐集を進め、文献資料等の充実を図るとともに、魅力ある多彩な企画展を開催し、誘客拡大に努めてまいります。

(美術館)

- ・至高のルネサンス美術を堪能できる、日本初上陸・本県のみ開催の「フラ・アンジェリコ展（仮称）」、近代日本画の魅力を広く発信する「狩野芳崖と四天王展」、スタジオジブリ作品のアニメ原画や背景画が鑑賞できる展覧会など、開館40周年を記念した大型企画展を開催し、県内外からの誘客を進めます。

(若狭歴史博物館)

- ・明通寺の「十二神将象」をはじめ若狭に伝わる仏像の魅力に迫る「知られざる若狭のみほとけ ～中世若狭の仏像～」を開催するなど、特色ある若狭の歴史・文化を県内外に強力に発信します。

(歴史博物館)

- ・杉田玄白に代表される医人を中心に戦国から明治時代までの医学の歴史を紹介する「越前若狭の医学史 ～ふくいのできる医人たち～」、越前での白山信仰の実情を紹介する白山開山1300年記念展を開催します。
- ・平成30年の幕末明治福井150年博の開催に向けて、幕末から明治期における本県ゆかりの重要資料の充実を図るとともに、幕末明治期に撮影された写真をもとに、先人の功績や暮らしぶりを伝える映像資料を作成します。 **交流拡大施策**

3 豊かな環境、すぐれた風景を次の世代に

◇福井が誇る歴史遺産の発信

○日本最大の戦国城下町「一乗谷ミュージアム」

- ・平成33年度中の開館に向けて、一乗谷朝倉氏遺跡博物館(仮称)「展示・ガイダンス棟」の建築基本設計を作成するとともに、展示実施設計に着手します。**交流拡大施策**
- ・日本トップレベルの中世都市遺跡研究の拠点化を進めるため、考古、文献、建築史、庭園史等の分野を超えた学際的な研究の推進に向けた具体的な検討を進めます。
- ・特別名勝庭園の再生・観賞化に向けた調査、復原町並での戦国城下町の人々の生活再現などを実施し、スケール感のある本物の歴史空間としての整備を進めます。
- ・県と福井市との間で、業務や役割を十分に協議し、推進体制の強化を図り、ミュージアム化のスピードアップを図ります。

○福井の遺産を日本・世界遺産へ

- ・「北前船寄港地・船主集落」について、敦賀市や南越前町等と連携して県内外に発信し、誘客拡大を図ります。さらに、一乗谷朝倉氏遺跡、白山平泉寺、永平寺など中世の歴史遺産をはじめ、本県に集積する魅力ある遺産群の「日本遺産」認定等を推進します。
- ・ユネスコ無形文化遺産である「和紙」への早期追加登録に向け、越前和紙の技術保持団体について、国の重要無形文化財への指定を推進します。また、本県の「水海の田楽能舞」、「睦月神事」をはじめ全国に数多くある同種の重要無形民俗文化財を包括した「日本の田楽」の選定を推進します。

○豊かな環境、すぐれた風景を次の世代に

- ・ふるさとの伝統的民家・まちなみ保存の拡大を図るため、「福井ふるさと百景活動団体」と「伝統的民家群保存活用推進地区」の認定・指定を継続して進めます。

目標名	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
福井ふるさと百景活動団体・伝統的民家群保存活用推進地区（累計）	66 団体	76 団体	85 団体	93 団体

- ・広域景観ガイドラインに基づき、福井らしい特徴を持つ市町を越えた広域的な景観を発信するため、6つの景観軸ごとに県、市町、民間団体等で構成する「広域景観協議会」を設立し、事業実施計画を策定します。
- ・特に、越前海岸の水仙畑については、重要文化的景観の選定に向けた本格調査に着手するとともに、北陸新幹線沿線景観軸については見晴台の整備候補地の調査を実施します。